

# 輝け角鹿

秋深まる?まだまだ暑い?…号  
令和3年10月吉日  
敦賀市立角鹿小中学校



## 校長室より

「人間は本来、悲観的でクヨクヨするのが自然です。悲観的というのは、リスクや悪い結果を想定できるということ。『これを食べても大丈夫か』『もし敵が現れたら』と想像し、できるだけ危険を少なくするための方策を考えてきたからこそ、人間は生き延びてこられました。楽観ばかりしていたら、とっくに滅んでいたでしょう。」…遙か600万年前、「人類」が誕生した頃の話です。彼らは二本足で歩き、やがて50万年前くらいには火や言葉を使えるまでに進化します。道具を使って狩りをするようにもなります。しかし鋭い爪も大きな牙もなく、走るのも遅かったので、常に肉食獣から「狙われる存在」でもありました。「石橋をたたいてなお渡らない」ほどの用心深さを持つ者だけが生き延び、命を繋いで、今の私たちの祖先となったのです。ですから常に最悪の事態を想像することが私たち人間にとって「自然な姿=本能」として受け継がれている…ナルホド納得…の話ですね。

しかし現代社会では、悲観ばかりしていたら何にもできません。敵に襲われ食べられてしまう危険はまずないので、本能として持っている不安や恐れが湧き出てきても、理性や知識、意思の力によってコントロールして、「クヨクヨせずに前向きにガンバろう!」と自分に言い聞かせる必要があります。

落ち込んだり、クヨクヨする理由は人それぞれですが、その多くは人間関係に悩んだり、自分の不甲斐なさを嘆いたり…ではないでしょうか。「自分の不甲斐なさ」にしても、それは人と自分を比べて、「あれもできない、これもダメだ」と自分を否定しているわけで、これも人間関係の一つといえます。

子ども達も大人と同じです。本能として、人間関係に悩んだり落ち込んだりします。昔はいつも群れて遊ぶ近所の子ども集団や、大人達の中でほめられたり叱られたりする町の行事等々「心が鍛えられる環境」がたくさんあり、子ども達は揉まれながら自然に心の強さを身につけていきました。でも今、そんな場や機会はめったにありません。角の立たない自己主張、お互い様の関係や思いやり思いやられる関係の結び方等々が下手なまま、7歳で子ども達は学校に通い始めます。

すると学校は集団生活が基本ですから、身のこなし方ならぬ「心のこなし方」を知らない子ども達の集団生活は日々綱渡りです。上手くいっている間は良くても、些細なトラブル発生に対応できず一気につらくなったり、周囲の目が気になって勉強どころじゃなくなったり、いじめに繋がるグループ対立や度を越した悪ふざけが発生したりします。彼らは「現代社会のマイナス面の被害者」とも言えます。

そこで子ども達が本来持っている「心の力」を育てることで、安心と信頼をベースにした仲間づくり、学級づくりができるはずと考え、アメリカで研究実践されてきた教育プログラムがあります。「ポジティブ心理学」をベースに構成された「ポジティブ教育」です。

赤崎小、敦賀北小、成新小の3小学校と角鹿中学校では3年前から、合併による不安や不適応をやわらげ、たくさんの仲間と新しい学校生活を楽しく送るための心の力を育てることを目的として、福井県教育総合研究所の学校サポートプログラムの指定を受け、ポジティブ教育を進めてきました。このプログラムは3年計画で、今年度が最終年度です。ポジティブ教育の定着によって、子ども達が安心して、仲間と共にたくさんの学びを手に入れられる角鹿小中学校となることをめざしています。 →ウラへ続く



## 10月の予定

- 15日(金) 中学校新人戦県大会～16日(土)
- 19日(火) 小1、2年運動会(2・3限体育館)
- 20日(水) 小3、4年運動会(2・3限体育館)  
中3放課後補習学習開始
- 21日(木) 小5、6年運動会(2・3限体育館)
- 22日(金) 中1、2年社会コンテスト
- 28日(木) 中全生徒総会
- 29日(金) 中1校外学習(東浦みかん狩り)



ある保育園がみかん狩り遠足に行ったところ、「せんせえ、皮をむいて!」という園児が行列をつくったそうです。保育園の先生によると「みかんの皮がむけない子どもがすごく増えている。」そうです…本校の子ども達は、小中とも大丈夫!ですよ…??

# 心・からだ・しあわせな人生をつくる「5大栄養素」

「4 Pillars of the Choose Love Program」に喜びを追加



**勇気**  
COURAGE

はずかしいことやこわいこと、めんどろなことがあっても、逃げないでよい方向に一歩ふみだすことを学びます。



**感謝**  
GRATITUDE

ありがたいと心から思い、人生の中でつらいときでも感謝（かんしゃ）の気持ちを持ち、いきいきできることを学びます。



**ゆるし**  
FORGIVENESS

他の人や自分に嫌な気持ちを持ち続けることをストップし、エネルギーをよい方向に使うことを学びます。



**思いやり**  
COMPASSION

他の人や自分が傷ついていることに気づき、傷をやわらげたり、困っていることを解決したりすることを学びます。



**よろこび**  
JOY

他の人のよろこびを自分のことのように感じることや、他の人といっしょに何かをするよろこびを学びます。

Happiness Wave with LOVE

ポジティブ教育の最終的な目的は、どの子どもも幸せな人生を築き、歩むことです。そのためには「心の豊かさ・心の強さ」を自分の中に育てる必要があります。校舎内の廊下などに貼ってあるプレートには、「心・からだ・しあわせな人生をつくる5大栄養素」として、5つの「心の持ち方」が示されています。小学1年生から段階を追って、これらの「栄養素」を自分の中に取り入れ、安心して楽しく過ごせる集団、認め合い助け合える集団を、仲間と一緒に作るための「豊かで強い心」を身につけていく術を学びます。ポジティブ教育は、次のような授業や活動で成り立っています。（昨年度までの取組から）

## ◎レジリエンス…困難や逆境を乗り越え成長する力を身につける活動

授業例…レジリエンスを知ろう（小4）

他者から見た自分の強み（中2）

立ち直るために必要な力とは（中1）

魂が喜ぶWAKUWAKU（中3）

## ◎ソーシャルスキル…社会性を育てよりよい人間関係をつくるのに必要なスキルを身につける活動

授業例…イヤな気持ちの時の「ゆるしの呼吸」（小1）

気晴らしの処方箋（小4）

NO!と言える勇気（小2）

ウワサ話への対処法（中1）

## ◎ピア・サポート…仲間同士が認め合い、支え合う集団を創る活動

授業例…自分を支えてくれる人・もの・こと（小5）

仲間の困りごとを解決しよう（小6）

活動例…体育大会・みんなで助け合い笑顔あふれる体育大会にしよう（小3）

修学旅行・自分の役割で班員のためにどんなサポートができるか考えよう（中3）

角鹿小中学校のすべての子どもが、困難な未来でも力強く立ち向かっていく人になってほしいと、心から願っています。子どもは誰もが「強くなろう」とする力を持っています。その力を大人が引き出すのではなく、「自分で見つけて、自分で育てる」のを、支え見守るのが私たちに求められる役割です。ご家庭でも家族みんなで「レジリエンス」…是非考え、実践してみてください。

## 授業参観を計画します

感染予防のため昨年度から一度も実施できていませんが、子ども達の学校での姿をぜひご家族に見て頂きたいという思いを教職員一同が持っています。また「いつ学校へ行けるのか。」という保護者の方々からの声も聞こえます。冬には第6波が…との予想もありますが、現在の状況ならば授業参観は可能と考えます。そこで11月中に授業参観を実施します。計画ができ次第お知らせしますので、今しばらくお待ちください。



## 入学、卒業、進級関係の予定

就学時検診…11/16（火）

入学説明会（小）…R4.1/28（金）

入学説明会（中）…実施しません

→「入学のしおり」はお子さんに渡します

→中学校の様子は、11月の授業参観の機会にごらん下さい（6年生保護者のみ可）

卒業式…未定です。3/7～3/11ごろと思われる。本校の卒業式は小中合同です。

入学式…例年4/8ですが、現時点ではまだ未定です。それぞれ決まり次第お知らせします。

